

第12回 教育再生会議 議事要旨

日時：平成20年1月31日（木）18：35～18：45

場所：総理官邸南会議室

出席者：福田内閣総理大臣、町村官房長官、渡海文部科学大臣、大野官房副長官、岩城官房副長官、二橋官房副長官、池坊文部科学副大臣、山谷総理大臣補佐官、有識者委員14名

（野依座長）

本日は最終報告案の取りまとめを行いたいと思うので、よろしく願います。まず、山谷総理大臣補佐官より、報告案について御説明いただきたい。

○山谷補佐官より、最終報告案を説明。

（野依座長）

最終報告案は、前回の合同分科会で私と座長代理に御一任いただいたので、運営委員とも相談の上、委員の皆様の御発言を概ね反映させていただく形で修正させていただきました。本案をもって皆様に御了承いただければと存じているがいかがか。

○一同、異議なし。（最終報告了承される）

（福田内閣総理大臣）

一昨年10月の教育再生会議発足以来、1年4カ月に立ち、その間皆様方には熱心に御審議頂き、本日、最終報告をおまとめ頂いた。会議だけではなく、野依座長を筆頭に、プロジェクトチームの開催、現場の視察、ヒアリングなど、積極的に行って頂いた。

この間、政府としても、昨年の通常国会での教育三法の成立など、法改正や予算編成など多くの事項を実施してきたわけである。今後取り組むべき事項についても、様々なレベルで検討が進められているところである。

これまでの野依座長、池田座長代理はじめ委員の皆様方の御尽力に感謝を申し上げる。

本日の最終報告でも、提言の実行が必要だということで、政府としても、最終報告をしっかりと受け止め、皆様の御論議の成果が今後十分活かされていくよう提言の実現、フォローアップに取り組んでいくとともに、内閣とし

て、教育問題に引き続き真摯に取り組むため、この後の新しい会議を内閣に設置したいと考えている。

これまでの委員の皆様の御協力に、改めて感謝を申し上げます。

(野依座長)

総理、ありがとうございました。

まず、平成18年10月18日の第1回会議以来、今日の最終報告に至るまでの委員の皆様の大変熱心な御議論、多大な御協力に対し、改めて厚く御礼を申し上げます。

教育再生会議のこれまでの提言は、全て具体的に実行されてこそ初めて意味を持つものと考えている。今後は提言の実現とフォローアップが重要であり、全ての子供たち、若者たちの未来のために、政府として、具体的に教育再生を実現していただくことを、お願い申し上げます。

委員の皆様を代表して、座長の私から、福田総理に教育再生会議の「社会総がかりで教育再生を・最終報告」を御手交申し上げます。

○野依座長より、福田内閣総理大臣に教育再生会議最終報告を手交。

(野依座長)

本日の第12回の教育再生会議は閉会させていただく。これまでの皆様方の御尽力に対し、感謝申し上げます。ありがとうございました。